

QSS-2802-3101-3411-3704 タンク液作成の準備/調液方法

【MPC仕様共通】

1. 薬品の準備

処理薬品 (MPC-22)	P-1R (CD)	P-2R (BF)	P-3R (STB)	P-1S
必要数量	1箱	1箱	1箱	—
使用本数	2本	2本	6本	4本

2. 調液割合

母液タンク容量		P-1 (CD)	P-2 (BF)	P-3 (STB)
		29.9 L	30.0 L	51.7 L
調液割合	補充液	12.0 L	18.0 L	51.7 L
	スターター	3,289 ml	—	—
	水	14.7 L	12.0 L	—

3. タンク液の調液

- * 各母液タンクから処理ラックを抜き出す時、液が他の母液タンクに入らないよう十分注意してください。
- * 調液に使用する容器(バケツ)は、CD用とその他用を分けてください。

- P-1
(CD)
1. 容量 20L 以上の清潔な容器に 15~40℃ の水を 16L 用意します。
 2. P-1R を2本投入し、1分程度攪拌して調液します。
 3. 2. で作った液(P-1R 補充液)を CDサブタンクから 12.0L 注入します。
残った液は補充タンクに入れてください。(約 8.0L)
 4. P-1S (スターター) 3,289mLを CDサブタンクから注入します。
 5. 15~40℃ の水をオーバーフローするまで CDサブタンクから注入します。
(約 14.7L)

- P-2
(BF)
1. 容量 20L 以上の清潔な容器に 15~40℃ の水を 10L 用意します。
 2. P-2R を2本投入し、1分程度攪拌して調液します。
 3. 2. で作った液(P-2R 補充液)を BFサブタンクから 18.0L 注入します。
残った液は補充タンクに入れてください。(約 2.0L)

- 15～40℃ の水をオーバーフローするまで BFサブタンクから注入します。
(約 12. 0L)

- P-3 (STB)
- 容量 20L 以上の清潔な容器に 15～40℃ の水を 19. 8L 用意します。
 - P-3R を2本投入し、1分程度攪拌して調液します。
 2. で作った液(P-3R 補充液)20L を 各STBサブタンクから全量注入します。
 - 同じ容器で、1. 2. 3. を繰り返し、計 40L 注入します。
 - 続けて同じ容器に 15～40℃ の水を 19. 8L 用意します。
 - P-3R を2本投入し、1分程度攪拌して調液します。
 6. で作った液(P-3R 補充液)を 各STBサブタンクからオーバーフローするまで注入します。残った液は補充タンクに入れてください。(約 8. 3 L)

*サブタンクとは、ケミカルフィルターが装着されている箇所を指します。
ケミカルフィルターを抜き、そこから薬液を注入してください。

【 参考 】 補充液 作成方法

処理薬品名称	水 (15～40℃)	薬品	仕上り量
MPC-22 P-1R (CD)	8 L	P-1R 1個	10 L
MPC-22 P-2R (BF)	5 L	P-2R 1個	10 L
MPC-22 P-3R (STB)	9. 9 L	P-3R 1個	10 L

【 参考 】 1 L あたりのタンク液 調液割合

処理薬品名称	補充液	スターター	水	仕上り量
MPC-22 P-1 (CD)	400 mL	110 mL	490 mL	1 L
MPC-22 P-2 (BF)	600 mL	—	400 mL	1 L
MPC-22 P-3 (STB)	1000 mL	—	—	1 L